

開催日時：平成25年1月10日（木）

10:00～12:00

開催場所：徳島市役所 8階 庁議室

第2回 ひょうたん島川の駅ネットワーク市民構想会議

会議録（要約）

【出席者】

委員：12人（うち1人代理人）

阿部委員、大谷委員、岡部委員、黒田委員、近藤委員、長澤委員、中村委員、間委員、服部委員、真鍋委員、吉岡委員、森竹委員（代理）

オブザーバー：5人

徳島県 河川振興課 港湾空港課 運輸政策課

市側：16人

都市整備部まちづくり推進課ほか

傍聴者：0人

【会議プログラム】

- 1 開 会
- 2 議 事
- 3 閉 会

【会議の内容】

1 開 会

2 議 事

- （1）第1回市民構想会議のまとめ
- （2）ひょうたん島川の駅ネットワーク構想コンセプトおよび基本方針（素案）
川の駅候補地の絞り込みについて（案）
船の運航形態（素案）
川の駅候補の利活用（素案）
- （3）ワークショップ全体計画（案）

第1回ワークショップ開催概要と広報用チラシ

(4) 意見交換および質疑

(5) 連絡事項

事務局

次回の開催は、3月19日（火）午前10時からを予定しています。

また、第1回ワークショップを2月16日午前10時から行います。

3 閉 会

以 上

■第2回市民構想会議のまとめ(平成25年1月10日)

【基本構想について】

注)事務局意見は回答を求められた場合のみに発言した

キーワード	委員意見	事務局意見
基本方針について	・市民が利用できる駅という日常的な「川の駅」を使うことによって、もう少し徳島市全体が川に即した徳島のコンセプトにしてはどうか？	
	・全体的コンセプトの説明をするためには、もう少し資料が要と思う。	
	・川の駅ネットワークをつくる意味とか、何故つくるのかというところがコンセプトになると思う。	
	・基本コンセプトの中で、背景に中心市街地活性化計画などもあると思う。そこらを全面に押し出すようなコンセプトがあってもいいのではないかな？ →住む魅力というのは強い。 →しかし、川の駅構想で、これをプランにするのは難しいと思う。	
	・2番(あわぎんホール前棧橋)について、日常生活と来訪者の両方を書いていて、駅の候補地という言葉を使っているが、魅力を高めるということになるかと思う。	
	・3番(文学書道館寂聴棧橋)は、そのエリアの拠点としてのネットワークを何故つくるのかというところの説明に使える。	
川の駅の活用	・川の駅ネットワーク構想ということで、3つの魅力が必要。 →・乗りたいと思わせる。 →・そこに行きたいと思わせる。 →・川の駅があることによってそこに住みたいと思わせる。	
	・理屈が連動しないと、川の駅をつくっただけでは勿体ない。	
	・西地区の再開発と共に考えていくという時に、市民の理解を得られるためには、市民が納得するような理由付けが必要で、例えば、雇用が発生するとかが必要なのではないかな？	
	・歩くという楽しみを駅が繋いでいくことによって、市民がそれを認知しながら支える形のもので、川と陸からもというような形でいくことで、今までNPO法人新町川を守る会がやってきたことが、より生きてくるのではないかな？	
	・歩くコースと川の駅が上手くマッチングしている、その辺はどんな感じでしょうか？	・今回評価指標を周辺の地域特性とか経済性、安全安心等の視点で評価をさせて頂いて、その中で実現可能なものを絞り込んでいる。今後これは要検討で、必要に応じて適宜対応は出来るのではないかと考えている。
	・周遊船駅、それからウォーキング徒歩等、それをセットで上手く出来ていると示すような説明がどこかあったら良いと思う。 ・実際にその周辺に住んでる市民の方に、それを利用することによって賑わいになればよい。 ・新町川公園あたりは魅力的だが、4番(徳島文化公園前棧橋)あたりも住宅地として、また文教も含めて良いかと思う。 ・船を使ってそこで降りて何かあるというものをつくらないと、あまり意味がない。	・拠点が出来ると、ここを中心にこういうコースで歩けるというものを、次回お示し出来るようにしたいと思う。

■第2回市民構想会議のまとめ(平成25年1月10日)

【基本構想について】

注)事務局意見は回答を求められた場合のみに発言した

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅づくり	<ul style="list-style-type: none"> 川の駅って何だろう？ →人が集まる場所、人が集まるのに近くても良いと思うが、今の段階でどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 川の駅といっても色々で、例えば大都会であれば株式会社が採算に乗せてやっているというのが大体一般的。
	<ul style="list-style-type: none"> 駅そのものを、株式会社が採算に乗せてやっているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地から中心市街地を利用する川の駅として、株式会社が運営している。徳島市の場合は他都市の商業ベースに乗せた川の駅という概念とは自ずと変わってくる。徳島ならではの川の駅になるのではないかと考えている。将来的な課題としては観光としての目的についても考慮が必要であると思う。今は、移動手段、市民を中心に手軽な遊び心をもった移動手段としてまず定着させる。そこから川縁で色々な活動・文化が生まれて、それがまさに徳島の風物詩になるのではないかしらと思うし、そうならば素晴らしいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> 川の駅という話し合いをしているので、一箇所ぐらいはきちんとした川の駅が欲しい。 全国に対する発信力も随分違ってくる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 両国橋～新町橋の間の規制緩和もでき、使いやすい川づくりができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 新町橋の河畔棧橋を中心に川の駅の拠点的要素を盛り込んで考えて行けば、そこが水都徳島の集約的なエリアになる。そこが成功すれば、助任橋袂のような場所にも拠点をつくりたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 民間が中心となってつくるのが良い。そうしないと使い勝手が悪い。 	
川の駅候補地	<ul style="list-style-type: none"> 軽重を付けるというか、重要なところをやっていく。可能性を考えながら進化させていく、そういうイメージか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 河川区域、公園区域という規制があり、候補地として挙げたが実際問題としてかなりハードルが高いなど、調査をして初めて分かったということもあり、一度整理して、分かり易く結論に至るように資料作りをしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 助任橋のところにも欲しい。→徳大が近いからすぐ行ける。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 県外客の車の駐車場を構えて、4番(徳島文化公園前棧橋)の地から車の利用者は徳島市内に入れない等の約束事を決めておいたら、県外客も含めて利用できるのではないかと？ いろんな文教地区が近い。徳大や駅も含めた利用のものが出来ないか？ 徳島市動物園跡遊園地跡含めて、県の聾学校も移転しており、敷地は空いているので、駅の候補地の活用案としてどうだろうか？ →4番(徳島文化公園前棧橋)はすごく難しいと思っている。いかにそのエリアを整備していくか、拠点づくりをしていくか。出来た後のアクション、ソフト・ハード込みでしっかり持ってつくりたいといけない。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 三河家住宅の活用について、川に近いところにあるが、この活用をふまえて川の駅を検討したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回は実現可能なものの川の駅ということで挙げている。話を進めていくうちに、必要な場所は多分出てくると思う。それを皆様の方から挙げていただいて、それを市の方で整備して行けたらと思っている。できれば川の駅がこれで終わるのではなく、ここで進展していくとっかかりという形で今回絞り込みをさせていただき、報告書としては、将来的には広がりを持たせたものを残して行ければと思っています。今回絞り込んでいるのはあくまで、現在整備の実現可能な場所について挙げさせていただいている。
	<ul style="list-style-type: none"> 両国橋袂や中央ふ頭から少し距離がある。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 今後、そういう声があがっていったら整備していくということもあるのか？ 文化公園前棧橋は歴史的な背景がある場所と感ぜられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回で決定ということではなく、色々なご意見を頂きながら、この場所が良いというご意見があれば、その都度検討する。

■第2回市民構想会議のまとめ(平成25年1月10日)

【基本構想について】

注)事務局意見は回答を求められた場合のみに発言した

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅候補地	・水辺を歩きながら5分間毎位にどこから乗れるということがあると、5番(万代中央ふ頭棧橋)のコンセプトに近いものが出来るのではないかと途中で、候補地を絞り込んだら良いのではないかと？	<p>・5月にWSを予定しているため、そこで委員の皆さんにも加わって頂くという方法もある。</p> <p>・寒い時期でもよければ、検討する。</p>
	・川の中から見える風景と陸から見える川の風景というのは、実際に現地に行ってそういう意見を各現場で市の方と協議をしながら話をする方が早いのではないかと？	
	・5月に行くよりは先に行く方がまとまっていくのではないかと？ →3月の構想会議で行ってはどうか？	
	・三河家住宅関連、助任と(道の駅)陸上の拠点セットは検討。	
	・4番(徳島文化公園前棧橋)の位置づけをどうするか？	
	・市と県が話し合いをしてくれたらできるのではないかと？	
	・県庁前の場所は県が単独でできるのではないかと？	
	・本当に使おうとした時に使いやすさというか、広がりがある交通、その辺に商店があるとか何らかの可能性のあるところを候補地として選定していく必要があるのではないかと？	
	・候補地を選ぶ上での理由付けとして、漠然と考えた時に今のところで人が集まるのだろうか、人が集まる可能性が次の段階として持てるのかというところを考えていくべきではないかと？	
	・実際に利用が出来る、利用して貰える可能性がある、そういうところの観点で候補地を選定していかないと、将来的にどうにかしていかないといけないと思うが？	
・アクションを加えやすい候補地かどうかを基準として考えていかないといけないと思う。		
川の駅と道の駅	・陸上との連携で使いづらいというがあるので、それも含めてもう一度検討か？	
	・西新町の再開発は商業地等の設備計画をしているので、それは川の駅と陸の駅みたいに合体する。	
川の駅機能について	・川の駅が多ければ良いというわけではないと思うが？ →駅と言うのは難しいだろうが、乗降しやすいところであれば、棧橋があるだけでも対応できる。	
	・駅と棧橋は違う。	
	・駅というのであれば、最低駅長をおいてほしい。そうしないと発展しない。	
	・トイレは必ずある。これは最低条件。	
	・駅であって、そこで物を売るとか、色々会議も出来るようなものがあれば、人は集まる。	
	・助任橋の所だったら川の駅と道の駅が一緒にできるのではないかと？	
	・あまり行政がカチッとしてしまったものは拡がりを見せない。	
	・お酒も飲めるような場所でないとも発展していかないと？	
	・ある程度歴史的に基づいてつくっていくと、公園との連携もできるのではないかと？	
	・1階に物産店ができ、駅長も居て、2階に支援センターみたいなものを移す、3階は会議室みたいなものをつくる。	
・棧橋だけでは、これからの将来を見据えた時に発展性が少ない。		
その他	・佐古大橋から前川橋までの間は通れないが、それも色々検討している。	
	・船も人も歩いて回れる、そうすると水都徳島というのが発展するのではないかと？	
	・これだけ川を利用しているところは、全国的にも少ない。	
予算	・予算というのは市が負担するのか？市と県の両方で負担するのか？	・これからそれも話し合いをする。しかし市が主体的になってやりたいと思っているが、そうできるケースと出来ないケースがあるので、今後これから整理していく。
駅の完成後	・レンタサイクルがあれば、歩くよりもっと広がった範囲の色々な所が散策出来るのではないかと？ ・駅を作った後、次のアクションを加える。	
川の駅へのアクセス	・文学書道館寂聴棧橋から城山までのアクセスとして、水管橋の上を歩けるのか？構造的にも安全性を考えても大丈夫なのか？	・安全性に問題があるとは聞いていない。

■第2回市民構想会議のまとめ(平成25年1月10日)

【運航形態について】

注)事務局意見は回答を求められた場合のみに発言した

キーワード	委員意見	事務局意見
現状の運航を活かす	<ul style="list-style-type: none">・現在運航しているのが、11時から15時40分まで。多い時は100回くらい運航する。・川からのまちづくりとしてやっていく。徳島みたいな形でやっているのは全国にも無い。 →こうしていくのが徳島のまちづくりにつながるのではないか。	

【ワークショップについて】

キーワード	委員意見	事務局意見
候補場所の追加	<ul style="list-style-type: none">・情報収集を含め、これから考える材料にするということで、是非候補地に助任と県庁前をお願いしたい。	